

『旗の台発！ 小さな事件簿』

第一回 押印の話

東京教育技術研究所、NPO TOSS、TOSSランド事務局で起こった小さなトラブルを取り上げ、一般的なビジネスマナーとしてご紹介いたします。先生方が学校外で活動される際のご参考にしていただければ幸いです。

東京教育技術研究所 田村純子

申込書などの正式な書類を書く際、必ず必要になるのが押印です。皆さんも、數え切れないくらいの回数、印鑑を押してきたのではないかと思います。

では、正しく押すことができているでしょうか？

今回紹介するのは、TOSSメディアの預金口座振替申込書に関して、しばしば見受けられる押印のトラブルです。

以下のような場合、手続きをやり直すことになってしまいますので、ご注意ください。

- ①薄すぎて判別不能
- 1、印影がきちんととなっていない



現在、ほとんどの企業で、書類は機械処理されています。薄すぎると、機械で読み取ることができません。

②朱肉がつきすぎてにじんでいる

同じく、機械が正しく読み取れません。

③一部が欠けている
欠けている印章は、届出印と同一と認識されません。

※銀行印が分からなから、複数の印鑑を書類に押すのもNGです。
①銀行印ではない印鑑の押印
②訂正印が銀行印ではない
ちよつと盲点なのですが、銀行に提出する書類の場合、訂正印にも銀行印を押さなければなりません。

テープ等を使用すると、その書類は受理されません。

3、印鑑が間違っている

※銀行印ではない印鑑の押印
①銀行印ではない印鑑の押印
②訂正印が銀行印ではない
ちよつと盲点なのですが、銀行に提出する書類の場合、訂正印にも銀行印を押さなければなりません。

太枠内をご記入の上、ご捺印ください。

| | | |
|------|-----------|------|
| フリガナ | ムコウヤマヨウイチ | 届け出印 |
| 口座名義 | 何山洋一 | |

※複数の印鑑を押している例